

表 3-18 【参考】作業開始前ミーティングでの一般的な確認事項

捕獲手法	確認事項
各捕獲手法共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に配付してある図面を基に現地での最終確認</li> <li>・ 捕獲作業段取りの確認</li> <li>・ 装備品の確認</li> <li>・ 無線機（業務用）の通信確認</li> <li>・ 作業の記録事項の確認</li> <li>・ 安全な作業のための注意点の確認</li> <li>・ 終了時間、終了時集合場所の確認</li> </ul>
銃による捕獲 （定点捕獲）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捕獲従事者は定点における、発砲範囲の基準の確認</li> </ul>
銃による捕獲 （非定点捕獲）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発砲時の安全確認ポイント等の確認</li> </ul>
銃による捕獲 （複合型）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ （図面上で）捕獲従事者全員の配置計画</li> <li>・ 非定点捕獲者及び定点捕獲者のそれぞれのグループリーダーの指定</li> <li>・ 無線による交信ルールの再確認</li> <li>・ 地域住民等の捕獲現場への侵入に備えた情報共有の徹底確認</li> <li>・ 発砲基準（安土の確保、捕獲対象鳥獣の目視確認、人等への誤射リスクの排除、射程距離の制約）の共有</li> </ul> <p><b>【猟犬を使用する場合】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺の家畜やペットの位置（猟犬が接近した際の対処法）の確認</li> <li>・ 使用する猟犬の行動特性の共有</li> </ul>
わな・網による捕獲 （露出型・非露出型）	<p><b>【わなの設置時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見回りの効率性と法令遵守の両面を念頭に入れた設置場所の選定</li> <li>・ 地域住民等による事故を防止するための注意看板の設置ルールの確認</li> </ul> <p><b>【わなの見回り時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捕獲個体確認時の対応（現場責任者への情報集約、止めさし作業の単独行動不可）の確認</li> <li>・ 捕獲個体の処置のための機材準備の確認</li> </ul>

表 3-19 【参考】捕獲作業開始～終了の一般的な安全管理ポイント

捕獲手法	安全管理のポイント
銃による捕獲 (定点捕獲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示を受けた定点に到着後、安定した足場を確保し、視界を確認して狙撃ポイントを想定</li> <li>・想定を超えた発砲は慎む</li> </ul>
銃による捕獲 (非定点捕獲)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲従事者同士がお互いの位置を無線連絡しあいながら作業</li> <li>・捕獲対象の動きがあった場合、種類名、性別、移動経路等を無線連絡</li> <li>・銃の発砲時には、射程範囲に人がいないこと、安土があること、確実に捕獲対象を目視することを冷静に確認してから発砲</li> </ul>
わなによる捕獲 (露出型)	<p><b>【設置時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腐敗等による悪臭の発生や、野生鳥獣による農作物被害の助長を防ぐため、誘引餌は誘引に必要な最低限の量にする</li> <li>・餌付いた鳥獣の獲り逃がしを可能な限り防ぐため、餌付けを十分に実施し、拙速なわなの動作は控える</li> </ul> <p><b>【見回り時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捕獲個体を興奮させないように、最低限の人数（1～2名程度）で実施</li> <li>・捕獲個体が襲ってきたときに身を避けるため、必ず斜面上部から実施</li> <li>・立木等に身を隠しながら、捕獲個体の有無や、捕獲されている場合にはわなの破損等がないか、十分に観察</li> <li>・事前に錯誤捕獲する可能性のある鳥獣は許可を取り、錯誤捕獲があった場合の処置を定めておく</li> <li>・錯誤捕獲個体の放逐体制の構築、錯誤捕獲を想定したわなの使用（ツキノワグマ脱出口を備えた箱わなの選択等）を検討</li> </ul> <p><b>【止めさし時】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銃器で止めさしをする場合、捕獲従事者の安全確保と動物福祉における適切な処置のため、狙撃する部位を明確にして慎重に発砲</li> <li>・保定具を使用して、可能な限り捕獲個体を動けない状況にする</li> </ul>
わなによる捕獲 (露出型・非露出型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わな設置場所の現場確認ができるよう、サインを設置</li> </ul>